

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性
(平成23年2月時点)

| | | | | | | |
|--|-----------------------------------|------------------|----------------|---------------|----------------|---|
| 事業番号 | ⑦-1 | 事業名 | 区民まちづくり基金活用事業 | | | |
| 所管 | 市民人権 | 局 | 市民生活 | 部 | 市民人権総務 | 課 |
| 1. みんなの審査会でいただいた主な意見等 | | | | | | |
| <p>(検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民協働、市民自治を進めていくためにこの基金を活用しているのであれば、事業によっては自立化していく方策を考えていくべき。 事業数だけではなく、本当に区民に効果があったのかという評価は出さないといけない。 事業の効果を広報することにも積極的に取り組んでいただきたい。 区民と区役所との間の協働を、どういう形で行政として育てていくのか、長期的な視点が大事である。 よい意味での区どうしの競争と協働は当然出てくると思う。 基金活用事業は、自由な市民の発想を区としてどれだけとりこめるかの実験材料になる。この基金でいろいろな試し事業を行ってほしい。 区役所を市民自治の拠点として位置づけるということは非常にいいことだと思うし、本来的には拡大したい事業であるが、評価指標をしっかりと確立するべき。 <p>(市民審査員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページや広報でのPRはされているが、他の手法でのPRを考えてみてはどうかと思う。 対象事業の選定プロセスが目的に合っているのかが重要。評価手法の確立をし、効果がどれくらいか目に見える指標ができれば次に活かせると思う。 事業を実施するにあたっての行政としての原則を持ち、各事業について事前、事後ともに評価を行い、数的、質的データを今後さらに蓄積することが必要と思った。 市、市民、企業と協働して効率的に実施する。 | | | | | | |
| 評価結果 | ①市で実施 (現行どおり) | ②市で実施 (強化・拡充) | ③市で実施 (要改善) | ④実施主体の 見直し | ⑤事業は不要 (廃止) | |
| 市民審査員 | 1人 | 0人 | 12人 | 1人 | 0人 | |
| 検討委員(参考) | 0人 | 1人 | 4人 | 0人 | 0人 | |
| 2. 市の方向性 | 改善(平成23年度予算に反映もしくは平成22年度中に見直しに着手) | | | | | |
| 3. 1の意見等についての市としての考えをふまえた取組方針、見直し内容 | | | | | | |
| <p>基金活用事業の選定基準及び効果検証を次年度公表する方向で検討を進めている。</p> <p>また、区役所の機能強化と区民協働のさらなる推進を図るため、新たに特別枠を創設し、重点テーマに対して、区民の声をもとに区独自で事業を実施していく。</p> <p>今後はより一層区民協働の推進へとつながっていくように、個別事業の的確な効果検証を行うとともに、その広報に努め、基金活用事業を継続的に取り組んでいく。</p> | | | | | | |
| 4. 平成23年度予算への反映状況 | | | | | | |
| | 平成22年度当初予算 | 平成23年度査定額 | 増減額 | | | |
| 事業費 | 200,000千円 | 210,000千円 | 10,000千円 | | | |
| 5. 今後の取組予定 | | | | | | |
| 平成22年度下半期 | 基金活用事業の選定基準、効果検証の方法を検討する。 | | | | | |
| 平成23年度 | 選定基準に則った事業選定を開始し、事業実施後は効果検証を公表する。 | | | | | |
| 平成24年度以降 | 効果検証を踏まえ、基金活用事業を効果的に推進する。 | | | | | |